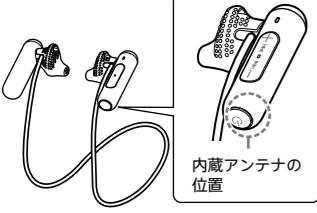


使用上のご注意

Bluetooth通信について

- Bluetooth無線技術ではおよそ10 m程度までの距離で通信できますが、障害物（人、金属、壁など）や電波状況によって通信有効範囲は変動します。
- Bluetooth通信は以下の状況において、ノイズや音切れが発生したり、接続できなくなることがあります。
 - 本機とBluetooth機器の間に人体がある場合
 - 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
 - 本機のアンテナは、下記の図の点線で示した部分に内蔵されています。接続するBluetooth機器と本機のアンテナとの間に障害物が入らないようにすることで、Bluetooth通信の感度は向上します。



- 本機と接続するBluetooth機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近傍で使用すると、電波干渉のためノイズや音切れが発生したり、接続できなくなることがあります。この場合、次の対策を行ってください。
 - 本機とBluetooth機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところに行き。
 - 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
 - 本機とBluetooth機器をできるだけ近付ける。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBluetooth機器の電源を切ってください。
 - 病院内／電車内の優先席付近／カソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
 - 自動ドアや火災報知機の近く
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本機側での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでご使用の場合、映像と音声がずれる場合があります。
- 本機は、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが充份でない場合があります。Bluetooth通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth通信時に情報の漏洩が発生しますので、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべてのBluetooth機器とのBluetooth接続を保証するものではありません。
 - 接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
 - ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

音楽再生中に音が途切れやすい場合

- 送信機器のワイヤレス再生品質設定の変更や、ワイヤレス再生モードをSBC固定に変更することにより改善される場合があります。詳しくは送信機器の取扱説明書をご覧ください。
- スマートフォンで音楽を聴いているときは、不要なアプリをシャットダウンしたり、スマートフォンを再起動すると改善される場合があります。

スマートフォンやパソコンの通話用アプリの使用について

- 本機は通常の電話着信にのみ対応しています。スマートフォンやパソコンの通話用アプリには対応しておりません。

充電について

- 本機はUSB充電専用です。本機の充電を行うには、USB端子のあるパソコンまたはUSB ACアダプター（推奨：AC-UD20（別売））が必要です。
- 充電中は電源が入らず、Bluetooth機能は使用できなくなります。
- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。
- 本機を長期間お使いにならなかった後に充電を行った場合、ランプ（赤）がすぐに点灯しない場合があります。ランプ（赤）が点灯するまでしばらくお待ちください。

- 長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行ってください。
- 電池の持続時間が極端に短くなった場合は、充電式電池の交換時期です。交換については、ソニーの修理相談窓口にご相談ください。
- 充電後は、必ずマイクロUSB端子のフタを確実に閉めてください。

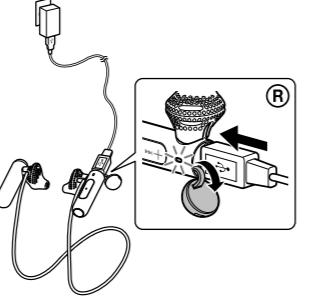


静電気に関するご注意

- 人体に蓄積される静電気により耳にピリピリと痛みを感じことがあります。天然素材の衣服を身につけることで軽減できます。

本機の動作がおかしいときは

- 本機をリセットしてください。
リセットする場合は充電をしてください。充電を開始すると本機は自動的にリセットされます。機器登録情報その他の設定は保持されます。

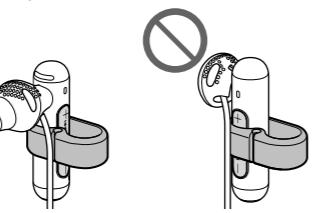


- リセットをしても症状が改善されないときは、本機を初期化してください。
マイクロUSBケーブルを本機から抜き電源を切ってから、△ボタンと-ボタンを同時に7秒以上押し続けます。ランプ（青）が4回点滅し、工場出荷時の設定に戻ります。すべての機器登録情報が削除されます。

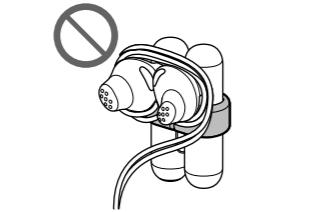
- 本機を初期化した場合には、iPhoneやパソコンに接続できなくなることがありますので、iPhoneやパソコン側の本機の登録をいったん削除して機器登録をしなおしてください。

キャリングホルダーを使うときのご注意

- 本機の音量+/-ボタンを内側にしてキャリングホルダーに入れてください。



- イヤーチップにケーブルを巻き付けてください。



本機の防滴性能について

- 本機は、JIS C 0920「電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）」の「水の浸入に対する保護等級」であるIPX4¹⁾相当の防滴仕様となっていますが、水中での使用はできません。（マイクロUSB端子のフタが完全に閉まっている状態であること。）
また使いかたによっては内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となる恐れがあります。以下の点を充分にご理解、ご確認のうえ、ご使用ください。

- 1) IPX4（飛沫に対する保護等級）：あらゆる方向からの、飛沫に対して本体機能を保護するものです。

防滴の対象となる液体

対象：真水、水道水、汗

非対象：上記以外の液体（例：石けん水、洗剤や入浴剤の入った水、シャンプー、温泉、お湯、ブルーの水、海水など）

防滴性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

防滴性能を保つために

- 下記の点をご確認のうえ、正しくご使用ください。
 - マイクロUSB端子のフタは防滴性能を保持するために大変重要な役割を果たしています。ご使用の際は完全に閉まっていることを確認してください。異物が付着していたり、すき間があって完全に閉まっている場合には、防滴性能を保持できないばかりか、内部に水が入り込み故障の原因になる場合もあります。
 - 防滴性能が損なわれるおそれがあるため、音出口の筒部の中に向けて、水を強く当てないでください。
 - 本機を水の中に入れたり、風呂場など、湿度の高いところで使用しないでください。
 - 本機に付着した水滴は乾いたやわらかい布などで拭き取ってください。特にイヤーチップの穴の中に水滴が残っていると、音が小さく聞こえたり、音が聞こえなくなったりすることがあります。その際には、イヤーチップを取りはずして音導管を下に向け、2、3回振って水滴を取り除いてお使いください。



- 寒冷地などでは、凍結する恐れがあります。使用後は必ず水滴を拭き取るようにしてください。
- ひび割れや変形が見られるときは、水のかかる場所でのご使用を控えていただくか、ソニーの修理相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

その他のご注意

- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所、直射日光のあたる場所や車内などには置かないでください。
- 携帯電話でご使用の際、電波状況、場所の影響により、ご使用できない場合があります。
- ドライバユニットに水を吹きかけないでください。
- イヤーチップが汚れたたら本機からははずして薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は水気をよくふいてから取り付けてください。
- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- 水がかからないようご注意ください。特に以下の場合ご注意ください。
 - 洗面所などの使用 水の入った洗面台や容器の中に落とさないようご注意ください。
 - 雨や雪、湿度の多い場所での使用
- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- イヤーチップなど小さな部品は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- ほかに疑問点や問題点がある場合は、ソニーの修理相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

イヤーチップは消耗品です。イヤーチップが破損・劣化し交換する場合は、ソニーの修理相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

主な仕様

概要

通信方式

Bluetooth標準規格Ver. 4.2

出力

Bluetooth標準規格Power Class 2

最大通信距離

見通し距離 約10 m¹⁾

使用周波数帯域

2.4 GHz 帯(2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz)

対応Bluetoothプロファイル²⁾

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)、AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)、HFP (Hands-free Profile)、HSP (Headset Profile)

対応コーデック³⁾

SBC⁴⁾、AAC⁵⁾

対応コンテンツ保護

SCMS-T方式

伝送帯域(A2DP)

20 Hz ~ 20,000 Hz
(44.1 kHzサンプリング時)

同梱物

ワイヤレスステレオヘッドセット(1)

マイクロUSBケーブル(約50 cm) (1)

キャリングホルダー (1)

イヤーチップ (S/M 各2)

使用上の注意／主な仕様(本書) (1)

取扱説明書 (1)

その他印刷物一式

1) 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わることがあります。

2) Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

3) 音声圧縮変換方式のこと

4) Subband Codecの略

5) Advanced Audio Codingの略

ワイヤレスステレオヘッドセット

電源

DC 3.7 V : 内蔵充電式リチウムイオン電池

DC 5 V : USB充電時

質量

約18 g

許容動作温度

0 °C ~ 40 °C

電池持続時間

ワイヤレス接続

連続音楽再生 : 最大8時間

連続通話 : 最大8時間

連続待ち受け : 最大200時間

注 : コードックや使用条件などにより短くなる場合があります。

充電時間

約2時間

(15分充電時 約60分音楽再生可能)

注 : 使用条件により変わる場合があります。

充電温度

5 °C ~ 35 °C

レシーバー部

形式

オープンエアダイナミック

ドライバユニット

13.5 mm

マイク部

形式

MEMS

指向性

全指向性

有効周波数帯域

50 Hz ~ 8,000 Hz

USB充電の推奨環境

推奨のUSB ACアダプター

AC-UD20 (別売)

市販のUSB ACアダプター

出力電流0.5 A (500 mA) 以上が供給可能なUSB ACアダプター

パソコン

※ 2017年12月現在

以下のOSが標準インストールされており、USB端子が標準装備されたパソコン

- 下記環境を満たすすべてのパソコンで動作を保証するものではありません。
- 日本語版標準インストールのみ。
- 自作パソコンは動作保証対象外です。

Windows[®]をお使いの場合

Windows[®] 10 Home / Windows[®] 10 Pro

Windows[®] 8.1 / Windows[®] 8.1 Pro

Windows[®] 8 / Windows[®] 8 Pro

Windows[®] 7 Starter / Home Premium / Professional / Ultimate

Macをお使いの場合

Mac OS X (バージョン10.9以降)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

ソニーの相談窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。